

Wish

ユニセフ兵庫ニュース



vol. 44
2014年9月号



たくさんの人に支えられて、地球のステージは創り上げられます。(開演前、桑山紀彦さんを囲んで)

CONTENTS

2-5

地球のステージ特集

1 インタビュー 2 イベントレポート

6-7 活動ファイル
2014年5月～8月

8 お知らせ

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
フィリピン台風	フィリピン台風 K1-280兵庫	00190-5-31000
アフリカ	アフリカ K1-280兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

ユニセフひょうご サポーター

賛助会員募集中!!

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。

Wish

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2014年(平成26年)9月発行

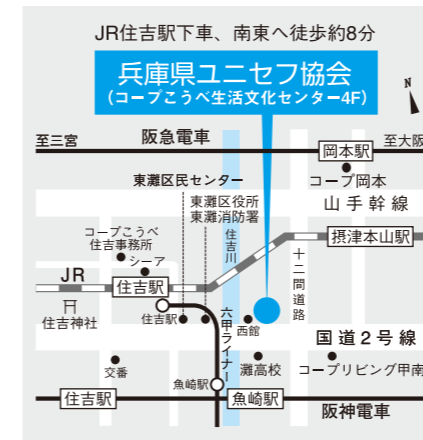
発行: 兵庫県ユニセフ協会

住所: 〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F

電話: 078-435-1605
FAX: 078-451-9830
(お問い合わせは平日の10:00～16:00)

●最新の情報はホームページで
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>
兵庫県ユニセフ協会

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

国際理解講座

国際理解講座⑤

「ラオス報告」

日時: 10月18日(土) 13:00～15:00
会場: コープこうべ生活文化センター

兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ「ユニーズ」メンバーの山本真司さんが4か月余りのラオス生活を振り返ります。

国際理解講座⑥

「アフリカで生きて働いた25年間」

日時: 11月15日(土) 10:00～12:00
会場: コープこうべ生活文化センター

ケニア最大のスラム「キベラスラム」でストリートチルドレンのための学校を共同運営する早川千晶さんにお話をいただきます。

国際理解講座⑦

「日本よ どう生きのびる」

日時: 12月13日(土) 13:30～16:00
会場: コープこうべ生活文化センター

ジャーナリスト大津司郎さん、拓殖大学教授甲斐信好さんのトークセッション。さまざまなキーワードで世界とつながってみませんか。

ユニセフ写真展

「中央アフリカレポート」

期間: 9月25日(木)～10月1日(水)
会場: コープこうべ生活文化センター

ユニセフバザー

日時: 11月22日(土)
会場: コープこうべ生活文化センター
バザー品のご提供をお願いします。あなたの一品が子どもたちの笑顔につながります。

第36回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド 街頭募金活動

日時: 12月23日(火・祝) 11:00～13:00(予定)
ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金は、皆さ一人ひとりがボランティアとして参加できる身近な国際協力活動です。昨年は宝塚、伊丹、西宮、住吉、三宮、元町、神戸、名谷、加古川、姫路で募金活動を行いました。一緒に募金を呼びかけてみませんか。お気軽にお問い合わせください。



お申し込み、お問い合わせ先

事務局 **078-435-1605**

BOOTH 出展参加

10月25日(土)、26日(日)
きょうどう学苑祭(三木市 協同学苑)
11月8日(土)
ふるさとウォーク2014(西宮市)
11月8日(土)、9日(日)
兵庫県ふれあいの祭典(豊岡市県立但馬ドーム)
11月9日(日)
2014ユニセフカップ西宮国際ハーフマラソン

NEWS お知らせ

ユニセフチャリティーコンサート

税所美智子さん
ハートフルコンサートPart.IV
「ガイア永遠の輝き」

日時: 11月23日(日) 14:00開演
会場: 県立芸術文化センター(西宮市)
問い合わせ先: 0797-74-0994

ユニセフカードとギフト 秋・冬号 2014



ユニセフ・カードやギフト製品は、世界各国の芸術家・所蔵家・芸術関係者の方々より作品複製許可をいただいております。定価の約50%がユニセフの活動資金として、子どもたちの幸せと輝く未来のために役立てられます。

ユニセフ製品 についてのお知らせ

これまで、たくさんの皆さまに、ユニセフ支援の1つの方法としてご利用いただいておりますユニセフ製品の購入方法について、次の通り変更となります。

- ①ユニセフ自身によるユニセフ製品の製作・頒布・お申し込みは、2014年12月31日を以て終了いたします。
- ②2015年からは、ユニセフとライセンス契約を結んだ企業がユニセフ・ロゴマークの付いたカードの製造及び販売を行います。

僕が活動を 続ける理由

地球のステージは、医師として世界各地をフィールドに活動される桑山紀彦さんが歌や映像を交えながら被災地や紛争地の実情や命の尊さを伝える公演です。これまでに3000回以上も行われてきました。その桑山さんが今度は映画を作りました。枠を超えた活動を展開する彼の思いに迫ります。



紛争地や被災地で生きる
子どもたちのことを
1%でもわかりたいんです。

Q はじめに、神戸開催10年記念公演についての意気込みをお聞かせください。

——阪神淡路大震災の時、僕は岡山回りで長田に入り、厳しい状況と悲惨な光景を目の当たりにしました。その経験が、僕のボランティア活動の始まりです。そして、東日本大震災被災地では神戸の教訓が生かされてきました。

2005年に地球のステージの神戸初公演は住吉のコープこうべ生活文化センターでした。それから、『地球のステージ2000回記念』をどこでするかな、っていう時も、兵庫県のユニセフ協会さんが呼んでくれたんですね。

そして、2011年3月11日の震災直後「桑山さん元気？公演は？それじゃ、神戸でませんか？」という電話が入った時「神戸の人だったら、今の僕や閉上ひめがみの人たちの気持ちを受け止めてくれる」と思ったんですね。あ

の日の公演の時は、もう泣いてばかり、涙が止まりませんでしたね。でも、やって良かった。あの日から、前を向いて進もうと思えたからです。上映する「ふしぎな石」も見てください。

Q 本番の手応えはいかがでしたか。

——たくさんのお客さんがいらしてくださいました。こうやって、大勢の人の応援があったからこそ出来ていることを感じました。『地球のステージ』の子どもたちだけでなく、映画『ふしぎな石』の閉上の子どもたちが、前に向かっていくことを感じていました。

取っ組み合いと思えます。

震災から3年というのは、津波の呪縛を一生引きずるか、乗り越えていくかの瀬戸際です。津波体験をファンタジーの物語にしたこの映画には、出演した人には心の支えになり、また、映画を見た人には、心を解き放ち、真に立ち上ることができるようになり

う願いが込められています。

Q これから「地球のステージ」と「ふしぎな石」は、どこへ船出しますか。

——国際協力も災害後の町への協力も、僕にとってはそこに子どもたちが待っているということなんです。紛争地や被災地で生きる子どもたちのことを1%でもわかりたいんです。

9月には、パレスチナのガザへ入る予定です。空爆の恐怖の中にいる子どもたちに何ができるかですね。

「地球のステージ」の公演も3000回を越えました。世界の子どもたちや東北の子どもたちがどこにいても希望を持てるように、音楽づくりや映画制作をして、出会い続けます。そして、その様子を皆さんにお届けしたいと思います。

また来年、新しくなった「地球のステージ」を持って、神戸に帰ってきます!!

Profile プロフィール

くわやま のりひこ
桑山紀彦さん

心療内科医。NPO法人「地球のステージ」代表理事。1996年より世界各地で医療救援活動を行い、それらの体験を映像と音楽で綴る「地球のステージ」を全国で開催している。映画『ふしぎな石』では監督を務める。

Norihiko Kuwayama

命と向き合うこと。 未来へ伝えること。

地球のステージが初めて神戸で公演されてから
ちょうど10年。
スタッフ全員が特別な思いで臨んだステージは
桑山紀彦さんの歌や映像に加え、
映画『ふしぎな石』の上映、
トークセッションが行われました。

地球のステージ

パレスチナや東日本被災地などの
様子が、映像と音楽で紹介された。
桑山さん演奏のギターやバイオリン
の音色、歌声はホールに大きく響き
わたった。

映画「ふしぎな石」

宮城県名取市閉上地区を舞台に
したこの作品は、閉上小学校の4人
の子どもたちが、暗号文を頼りに、
更地となった故郷を歩き回りなが
ら、石のかけらを集めるというファン
タジー物語。5つの石が一つに合わさ
った時、天国から声が聞こえた。
「命を粗末にしないで。
親より先に死なないで。
自分を大切にしてください。
子どもを先に亡くした人を見たら、
どうかそんなに悲しまないで」と伝えて。
みんなが笑っているときは私たち
も笑っているから。」

トークセッション

トークセッションは、会場からの質問を受ける形で進められた。
丹野さんは「自分が被災者と呼ばれるようになって、19年前の神戸の皆さんのお気持ちに少しわかったような気がします。震災直後、亡くなった息子の傍らに行くことばかり考えていました。桑山先生の支えがあり、息子がちゃんとこの世に生きていたことを伝えたいという思いが、一歩を踏み出す勇気につながりました」と話した。
しかし、閉上には、未だに震災の痛手から立ち直れない人も多く、もう少し時薬トキヤクという時間が必要だそう。
桑山さんは、「丹野さん世代の男性が、震災とどのように向き合い、どういう形で乗り越えていくのか気がかりです」と言葉を添えた。



1.温かい拍手に包まれた会場 2.ロビーで参加者と歓談する桑山さん
3.支援の品々が並ぶブース 4.同時開催した菅野千代子さんの写真展



Profile

丹野 祐子 さん
たんの ゆうこ

閉上中学校遺族会会長。
閉上に暮らしていたが震災で自宅は流失。中学1年生だった息子さんを亡くされた。現在は語り部、案内人として震災を語り続けている。映画「ふしぎな石」にも出演者として登場する。

トークセッション
出演者 桑山 紀彦さん(右)
丹野 祐子さん(中)
進行役 鬼澤 康弘さん(左)

Voices
参加者の声

子どもたちは生まれてくる場所を選べない。幸せな生きる場所をつくる大人の責任は大きいと思った。(50代)

桑山先生の生き方、とても素敵です。自分の生き方も改めて考える機会になりました。(30代)

丹野さんの一つ一つの言葉が心に響きました。(50代)

子どもたちの演技、閉上の映像、心にグッときました。(30代)

私が一番感じたことは命って本当に大切ということです。(10代)

辛いことがあっても、前を向いて生きようと思います。(10代)

Event Data イベント概要

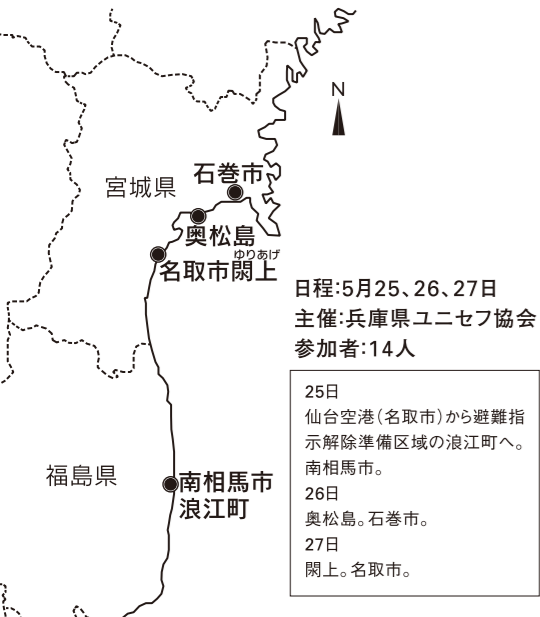
第1部 神戸開催10年記念「地球のステージ」
第2部 映画「ふしぎな石」&トークセッション

日時 平成26年8月24日(日)13:00~16:30
会場 神戸朝日ホール(神戸市中央区)
参加人数 約500人
主催 地球のステージ神戸実行委員会
後援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、(公財)兵庫県国際交流協会、JICA関西、朝日新聞社、兵庫県生活協同組合連合会、コープこうべ、コープこうべ労働組合、コープこうべ定時職員協議会
協賛 共栄火災海上保険(株)、六甲バター(株)、植垣米菓(株)、コープ住宅(株)、(株)コープ環境サービス、(株)コープエイシス、(株)協同食品センター、(株)コープフーズ、(株)コープムービング、(公財)神戸YMCA (公財)神戸YWCA
協力 神戸朝日ホール、神戸青年会議所、(株)フェリシモ、神戸市職員労働組合

Film Information 作品情報

映画「ふしぎな石」
原作 脚本 監督 桑山紀彦
制作 著作 認定特定非営利活動法人地球のステージ
出演 佐藤里咲 板橋冬馬 南部陽向 菊地一花 他

被災地を訪ねる



日程:5月25、26、27日
主催:兵庫県ユニセフ協会
参加者:14人

25日
仙台空港(名取市)から避難指示解除準備区域の浪江町へ。南相馬市。
26日
奥松島。石巻市。
27日
関上。名取市。



地元の食材を生かしたワタママ弁当

ワタママ食堂は海岸から200メートルほどの津波浸水域の中に建っている。この地域にもう一度住宅が再建され、絆が取り戻されることを願ってのことだ。宮城県産の杉を100%使用し、釘を一本も使わずに建てられた食堂は、午後にはカフェとして語らいの場になる。木の香り漂う素敵な空間だ。

「百聞は一見にしかず」
東日本大震災から3年を経た被災地の今を訪ねた。
訪問地には、強い信念を持って支援を続ける人々の姿があった。
その一人菅野芳春さんは、地域のお母さんたちと
NPO法人ワタママスマイルを立ち上げ、弁当の宅配事業を起こした。

NPOワタママスマイル

震災直後、菅野さんは、ガーナ支援のために沖縄で行っていたサトウキビ栽培を人に任せ、石巻市渡波小学校に設けられた避難所に入った。渡波地区は津波による犠牲者数が非常に多く、当時、渡波小学校体育館には2000人近くの人が避難していた。地元のお母さんたちは、自ら被災しながらも、10月に閉鎖されるまでの約7か月間、避難所ですべて炊き出しを続けてきた。そのお母さんたちが、「NPOワタママスマイル」を立ち上げ、11月に「ワタママ食堂」オープンさせた。配食は多い時には350食を超えることもあった。「ワタママ

スマイル」には、震災にもめげない渡波のママさんの笑顔がどんどん増えていくようにとの願いが込められている。
しかし、店舗として借りていた建物は解体されることになり、惜しまれながらも閉店を余儀なくされた。再建に必要な用地の確保や資金の調達は困難を要したが、再建を待つ人々の強い願いが背中を押し、菅野さんの東奔西走の日々が始まった。ようやく用地を確保し、寄付を募り、資金的なめどをつけ、今年4月20日「ワタママ食堂」再開へとこぎ着けた。閉鎖から2年が経っていた。

お弁当に託された支援

ワタママ食堂の再開により、被災して職を失った地元女性の就労の場が復活した。地元の人たちの好みに合わせた手作り弁当は、仮設のお年寄りに配達される。配達時に声をかけを行うことで、高齢者の見守り支援につながっている。また、お弁当代金400円のうち20円はガーナの学校の給食費に寄付されている。20円はガーナでの給食1食分に相当する。「1つのお弁当で石巻の高齢者の食の支援と、アフリカの子どもの食の支援が同時に達成できる新しい仕組みです」と菅野さんは話した。

2 ユニセフ入門講座II

日時 6月28日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
参加者 29人

ユニセフの支援活動を紹介。新作のDVD「シュヌン シュヌン」を見て、ワークショップを行いました。世界の子どもの置かれている状況や子どもの参画についての意見交換が活発に行われました。

3 ユニセフ七夕セミナー

日時 7月5日(土)
会場 岡山市立オリエンタル美術館(岡山市)

四国・中国・近畿地方の7つのユニセフ協会の合同研修会に兵庫県ユニセフ協会からは10人が参加。山崎やよいさんの講演ではシリアの女性の暮らしの現状を学びました。

4 第2回 国際理解講座 海外インターンシップ報告

日時 5月31日(土)
会場 賀川記念館(神戸市中央区)
参加者 46人

アイセック神戸大学委員会の5人の大学生が参加したフィリピン、マレーシア、ガーナ、ウガンダの現地NGOでの活動報告を行いました。その後、グループに分かれて国際協力についてディスカッションしました。

5 インターンシップ レポート 「涙と感動」 福島の子ども保養プロジェクト inよしまキャンプ

日時 7月27日(日)～31日(木)
会場 神戸YMCA余島野外活動センター(香川県余島)
共催 コープこうべ/神戸YMCA/兵庫県ユニセフ協会

兵庫県ユニセフ協会で、インターンシップ生(5週間)として活動に参加しました。特に印象に残ったのは余島キャンプ。子どもたちに寄り添い、カヌー、カヤック、アーチェリー、海水浴などをしました。最終日、子どもたちが寂しさで泣いてくれるのを期待していたのですが、実際、子どもたちは笑顔で別れ、寂しくて泣いていたのは僕の方でした。充実した5日間でした。この度、出会った人たちが生き生きと仕事をされていることです。きっと自分がしている仕事が好きで誇りを持っているのだと思います。現在、就職活動中で大企業思考、仕事内容よりも給料や他の事を優先していたのですが、それ以上に大切な事を忘れていたような気がします。「人生、意思を貫く」自分がどういう人間であるべきか、指標が出来たように思います。 早川敦之

Activity File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2014年5月～2014年8月

活動一覽

Activity List

学習会活動一覽

月日	訪問先	対象	人数
6月26日	コープこうべ第4地区平和をつなぐ会	大人	16
6月28日	ボランティア入門講座II	大人	29
7月17日	神戸市立成徳小学校	小学6年	149
7月25日	神戸市西区あさひ児童館	小学1～6年	80
8月 4日	夏休み「あそびっこウィーク」	小学1～6年	29
8月 5日	三木緑が丘コープ委員会	大人・子ども	17
8月25日	神戸市立駒ヶ林小学校	大人	18

地域活動一覽

月日	イベント名
5月18日	神戸まつり
7月 5日	ユニセフ七夕セミナー(岡山市)
7月12日	コープこうべ第3地区平和のつどい ※
7月26日	めだかの学校(西宮市)
7月27日～31日	福島の子ども保養プロジェクトinよしまキャンプ
8月 9日	ユニセフ国際セミナー(台風のため中止)
8月23日	コープこうべ大阪北地区平和のつどい ※
8月23日	コープこうべ第4地区平和のつどい ※
8月24日	神戸開催10年記念 地球のステージ&映画「ふしぎな石」※

※ユニセフ製品を頒布しました。ご協力ありがとうございました。

1 神戸まつりパレードに参加

日時 5月18日(日)
会場 三宮フラワーロード周辺(神戸市中央区)
参加者 120人



ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんとともに参加。沿道の人たちに手を振りながら、ユニセフへの支援を呼びかけました。



ちよこっと ユニセフ vol.2



(参考:日本ユニセフ協会HP)

テーマ 水と衛生

日本では、蛇口をひねればすぐに安全な水が出てきます。しかし、そうではない国もあります。ユニセフは、100か国以上で水と衛生プログラムを行っています。

TRY それでは三択クイズです!

- Q1. 世界中で安全な水を使えない人は、およそ 〇億6,800万人です。
ア) 3 イ) 5 ウ) 7 A()
- Q2. 汚れた水を主な原因とする下痢性の病気で、毎日〇,〇〇〇人以上の子どもたちが5歳を迎える前に命を落としています。
ア) 400 イ) 1,400 ウ) 2,400 A()